

島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(タービン建物の地震応答計算書)

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別, 目録番号	図書名称	該当頁					
1	2022/11/11	NS2-添2-002-07	耐震(計算書)(VI-2-2-7)	VI-2-2-7 タービン建物の地震応答計算書	P.48	フレーム内耐震壁の復元力特性の算定方法について説明すること。	2023/2/24 タービン建物は内壁及び外壁の明確な区分がない複雑な平面形状となっており、RC造耐震壁は基本的にフランジ壁を有する断面となっていることを踏まえ、せん断スケルトン曲線の終局点は「JEAG4601-1991 追補版」に基づき設定していることを記載しました。また、終局点を「保有水平耐力の計算方法(平成19年5月18日国交省告示594号第四)」に基づき算出したせん断スケルトン曲線を用いた場合の影響について別紙2-1「せん断スケルトン曲線の設定に関する影響検討」に示しました。	NS2-補-024-03 改 01「タービン建物の地震応答計算書に関する補足説明資料」 P.別紙2-4(通し頁P.33) NS2-補-024-03 改 01「タービン建物の地震応答計算書に関する補足説明資料」 別紙2-1(通し頁P.62~71)		
2	2022/11/11	NS2-補-024-03	補足説明資料	タービン建物の地震応答計算書に関する補足説明資料	P.1199	床ばね非線形による機器・配管系の耐震性への影響に関して、一部の質点で床ばね非線形の応答が大きくなっていることについて、設計に用いている震度及びFRSとの大小関係を示して説明すること。	2023/2/24 床ばね非線形による機器・配管系の耐震性への影響に関して、一部の質点で床ばね非線形の応答が大きくなっていることについて、設計に用いている震度及びFRSとの大小関係を整理した上で、床ばね非線形モデルの応答は概ね設計用条件に包絡されることから、機器・配管系の耐震性に与える影響はないことを記載しました。	NS2-補-024-03 改 01「タービン建物の地震応答計算書に関する補足説明資料」 P.別紙4-13, 4-40, 4-41 (通し頁P.95,122,123)	コメント移動	

島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(タービン建物の地震応答計算書)

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
No.1～7は、NS2-他-310改01で整理済みのため省略。						
8	NS2-添2-002-07改01	VI-2-2-7 タービン建物の地震応答計算書	目次,P.64～319	材料物性の不確かさを考慮したケースの地震応答解析結果を追記しました。また、それに伴い、図書構成を修正しました。	2023/5/31	
9	NS2-添2-002-07改01	VI-2-2-7 タービン建物の地震応答計算書	P.18,19,28,29	基準地震動Ss及び弾性設計用地震動Sdの加速度応答スペクトル図について、体裁を修正しました。	2023/5/31	
10	NS2-添2-002-07改01	VI-2-2-7 タービン建物の地震応答計算書	P.30	以下の記載を訂正しました。(下線部参照) (旧)コンクート (新)コンクリート	2023/5/31	
11	NS2-添2-002-07改01	VI-2-2-7 タービン建物の地震応答計算書	P.46	地下震度式は基礎スラブ部分の震度の算出に用いることがわかる記載に修正しました。	2023/5/31	
12	NS2-添2-002-07改01	VI-2-2-7 タービン建物の地震応答計算書	P.62	表3-8に材料物性の不確かさに関する注記を追加しました。	2023/5/31	
13	NS2-添2-002-07改01	VI-2-2-7 タービン建物の地震応答計算書	P.83,101,103,104, 112,114,115,127, 145,147,148,156, 158,159	線形部材の注記を追加しました。	2023/5/31	
14	NS2-添2-002-07改01	VI-2-2-7 タービン建物の地震応答計算書	P.117,161	表4-15及び表4-29に浮上り限界転倒モーメントを追加しました。	2023/5/31	